

競 技 注 意 事 項

本大会の競技は、2005年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会要項により行う。

1. 練習について

ウォーミングアップや練習は、すべて競技場北側のサブグラウンドならびに競技場内の室内練習場を使用することとする。

ただし、朝の競技開始または開始式10分前までは競技場内の練習も可能とする。また、投てき種目（砲丸投に限る）においては、サブグラウンドの指定された場所のみ可能とする。投てき器具は備え付けの物を使用し、時間等についてはその場の役員の指示に従うこと。

2. 招集について

A 選手招集場は、100mスタート地点外側ゲート付近に設ける。

B 招集開始時刻はその競技の開始時刻を基準とし、下記のように定める。

トラック競技・・・30分前に開始し20分前に終了する。

フィールド競技・・・50分前に開始し40分前に終了する。

C 招集の手順

競技者は招集開始時刻までに招集所集合し、点呼を受ける。

その際、係員にナンバーカードとスパイクの確認を受けたのち、係員の誘導に従って入場する。

四種競技出場者は最初の種目のみ招集所でCの に従い競技者係の点呼を受ける。

以降は現地招集とする。完了時刻はトラック15分前・フィールド30分前とする。

3. 競技について

A 危険防止のため、各走者はフィニッシュ後レーンに沿って曲走路を走る。

B トラック競技は、すべて写真判定による電気計時とする。したがってトラック競技出場者は右腰やや後方に、主催者が用意した腰ナンバーカード（縦12cm×横18cm）をつけること。フィニッシュ後はその腰ナンバーカードを役員に必ず返却する。また、すべての競技者は明瞭な文字で、ナンバーカードを背と胸にとりつけておく。なお、本大会の参加規定に基づくオープン競技者は、男子は赤字、女子は黒字のナンバーカードを着用すること。

（走高跳・棒高跳は、背または胸いずれか一方でもよい。）

C トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプロ記載どおりとする。準決勝以降の組み合わせは、番組編成員により公正に抽選の上決定する。編成された組み合わせは招集場に掲示する。

D 準決勝あるいは決勝進出における+ は100分の1秒単位とする。同タイムが多くレーンが不足する場合は写真を拡大して読みとり、進出者を決定する。それでも読みとれない場合は抽選で決定する。

E リレーオーダー用紙は、予選・決勝とも招集開始1時間前までに2部競技者係に提出する。予選のオーダー用紙は学校受付時に交付する。決勝のオーダー用紙は競技者係で交付する。

F リレーに出場する選手は、4人とも同一ユニフォームを着用するのが望ましい。

G リレーの各走者は1ヶ所に限り粘着テープをマーカーとして使用できる。（テープの大きさは50mm×400mm以内）

H 四種競技の最終種目については、3種目の合計得点で改めて組み分けをする。

I 競技規則第162条6項(2)『「位置について」の合図の後、ある競技者が音声その他の方法で、他の競技者をじゃまするような場合は不正スタートとみなさる。』により、スターターの「位置について」の合図で「お願いします」等のかけ声はかけないこと。

J 7レーン以下使用のトラック競技は、2レーンより行う。

K 次のラウンドへ進出できた競技者でやむなく次のラウンド（準決勝、決勝）を棄権する場合は総務まで棄権届を提出すること。棄権届は総務に申し出て受け取ること。なお、決勝を棄権した場合、その日のその後の競技には出場できない。

4. バーの上げ方

	種 目	練 習	上 げ 方	
男子	走 高 跳	1 . 4 5	1.50 - 1.55 - 1.60 1.70 - 1.73 以上 3 cm	
	四種走高跳	A	1 . 4 0	1.45 - 1.50 - 1.55 1.65 - 1.68 以上 3 cm
		B	1 . 3 0	1.35 - 1.40 - 1.45 1.65 - 1.68 以上 3 cm
	棒 高 跳	2 . 5 0	2.60 - 2.70 - 2.80 - 2.90 以上10cm	
女子	走 高 跳	1 . 2 0	1.25 - 1.30 - 1.35 - 1.40 - 1.45 - 1.48 以上 3 cm	
	四種走高跳	A	1 . 2 0	1.25 - 1.30 - 1.35 - 1.40 - 1.43 - 1.46 以上 3 cm
		B	1 . 1 0	1.15 - 1.20 - 1.25 - 1.30 - 1.35 - 1.40 以上 3 cm

四種競技の走高跳については、A・Bピットで最初の高さが異なるので、1日目の朝の受付時に、どちらのピットを希望するか申告する。
順位決定のバーの上げ下げは、走高跳 2 cm、棒高跳 5 cmとする。

5. 表彰

- A 決勝において第3位までに入賞した競技者（オープンを除く）は、決勝結果の通告後すみやかに表彰席に集合のこと。（表彰には競技服装・運動靴で臨むこと）また、表彰後、近畿総体への出場手続きをするため総務員席に来ること。なお、オープン競技者が3位までに入賞した場合は、表彰対象とはならないが近畿総体への出場権を与えるので総務員席に来ること。
- B 全国大会の出場資格を得た競技者も、表彰終了後すみやかに本部にて手続きを済ませること。
- C 学校対抗における団体表彰は、男子総合・女子総合・男女総合とも第6位までおこなう。
- D 学校対抗得点は各種目1位8点、2位7点、・・・8位1点とする。

6. 救急医療について

出場選手の競技中の疾病および傷害については、応急の処置は行うがそれ以後の責任は一切負わない。

7. その他

- A 貴重品等の管理は各校で十分注意すること。
- B スタンド・更衣室は常に清潔保持に努めること。
- C 大会中は、メインスタンド下は立入禁止とする。その他、競技注意事項ならびに競技場使用上の注意をしっかりと守ること。
- D 選手・競技役員・補助員・大会役員・報道関係者以外の者は競技場内には入らないこと。特に選手の付き添いや応援または記録を測るための理由で入らないこと。選手への助力とみなされ失格となる場合がある。
- E 助走マークやリレーマークなどで使用したテープは、確実にしがして持ち帰ること。
- F 自校応援席の清潔保持に努め、清掃の時間には参加者全員で清掃すること。
- G 弁当は日陰で管理するなど食中毒予防の方策をとり、衛生状態に十分配慮すること。
- H 全日本中学の出場資格を得た者は、表彰後、本部席で出場手続きを行うこと。